

# 教育研究業績書

2016年10月01日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：北尾 美香

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 研究分野    | 研究内容のキーワード               |
| 小児看護学   | レジリエンス, 熱性痙攣, 口唇裂・口蓋裂    |
| 学位      | 最終学歴                     |
| 修士（看護学） | 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程 |

| 教育上の能力に関する事項                 |     |    |
|------------------------------|-----|----|
| 事項                           | 年月日 | 概要 |
| <b>1 教育方法の実践例</b>            |     |    |
|                              |     |    |
| <b>2 作成した教科書、教材</b>          |     |    |
|                              |     |    |
| <b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b> |     |    |
|                              |     |    |
| <b>4 その他</b>                 |     |    |
|                              |     |    |

| 職務上の実績に関する事項                                |     |    |
|---|-----|----|
| 事項  | 年月日 | 概要 |
| <b>1 資格、免許</b>                              |     |    |
| 1. 養護教諭専修<br>2. 保健師<br>3. 看護師<br>4. 精神保健福祉士 |     |    |
| <b>2 特許等</b>                                |     |    |
|   |     |    |
| <b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>                |     |    |
|   |     |    |
| <b>4 その他</b>                                |     |    |
|   |     |    |

| 研究業績等に関する事項   |         |           |                        |  |
|---|---------|-----------|------------------------|--|
| 著書、学術論文等の名称   | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称      | 概要   |
| <b>1 著書</b>   |         |           |                        |  |
|   |         |           |                        |  |
| <b>2 学位論文</b>   |         |           |                        |  |
| 1. 熱性けいれんの子をもつ母親のけいれん時の対処行動と心理的状況およびけいれん後の対応          | 単       | 2011年3月   | 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻修士論文 | 地域の小児科クリニック16箇所を受診した乳幼児の母親で、1年以内にわが子の熱性けいれんを経験した者を対象にした質問紙調査によって、けいれん時の対処行動、心理的状況、その後の対応の現状と関連を分析した。   |
| <b>3 学術論文</b>   |         |           |                        |  |
| 1. 臨地実習指導者経験による看護師の小児看護学実習に対する認識と職務ストレスおよび看護キャリア認知の差異 | 共       | 2016年3月   | 日本看護学教育学会誌             | 小児看護実習を受け入れている病棟の看護師を対象に質問紙調査を行い、臨地実習経験の有無が小児看護学実習に対する認識、職務ストレスおよび看護キャリア認知において差異があるかを分析した。<br>共著者名：藤原千恵子, 木村涼子, 林みずほ, 高島遊子, 新家一輝, 植木慎悟, 北尾美香, 藤田優一         |
| 2. 専門医療機関の口唇裂・口蓋裂の子どもをもつ母親に対する看護援助の内容とその問題            | 共       | 2016年3月   | 武庫川女子大学看護学ジャーナル        | 口唇裂・口蓋裂児の専門医療機関での経験豊かな看護師11名にインタビュー調査を行い、口唇裂・口蓋裂児の母親に対する看護援助の内容と援助する上で感じている問題について分析した。<br>共著者名：藤原千恵子, 池美穂, 西尾善子, 松中枝理子, 藤田優一, 新家一輝, 高島遊子, 植木慎悟, 北尾美香, 石井京子 |
| 3. 熱性けいれんの子をもつ母親のけいれん時の対処行動と心理的状況                     | 共       | 2014年3月   | 外来小児科                  | 地域の小児科クリニック16箇所において、わが子の熱性けいれんを体験した母親を対象にした質問紙調査によって、回収された135名のうち不備の多いものを除く106名を分析対象とし、熱性けいれん時の対処行動と心理状態の特徴を分析した。<br>共著者名：北尾美香・藤原千恵子                       |
| 4. 看護職者による患者及び患者家族レジリエンス支援の必要性和実施の相互関係                | 共       | 2011年1月   | 第41回日本看護学会論文集 看護総合     | 研究協力が得られた13施設の3年以上の病院勤務の看護職者を対象にした質問紙調査によって、回収された341名のうち不備が多かった回答を除外し、303名   |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称                              | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称   | 概要  |
|--|---------|-----------|---------------------|---|
| <b>3 学術論文</b>                            |         |           |                     |   |
| 5. 看護職者のキャリア発達による患者及び患者家族レジリエンス支援の必要性の認知 | 共       | 2011年1月   | 第41回日本看護学会論文集 看護総合  | を分析対象とし、看護職者のキャリア発達によって患者や家族に対するレジリエンス支援の必要性と実施の相互関係を分析した。<br>共著者名：常松恵子、北尾美香、高城智圭、高城美圭、河上智香、新田紀枝、上田恵子、石井京子、藤原千恵子、   |
| 6. 看護職者による患者家族のレジリエンスを引き出す支援とその支援に影響する要因 | 共       | 2010年12月  | 家族看護研究              | 研究協力が得られた13施設の3年以上の病院勤務の看護職者を対象にした質問紙調査によって、回収された341名のうち不備が多かった回答を除外し、303名を分析対象とし、看護職者のキャリア発達によって患者や家族に対するレジリエンス支援の必要性に違いがあるかを分析した。<br>共著者名：北尾美香、常松恵子、高城智圭、高城美圭、河上智香、新田紀枝、上田恵子、石井京子、藤原千恵子 |
| 7. 育児体験ストレスに小児看護学実習が与える影響の主観的・客観的判定      | 共       | 2008年2月   | 第38回日本看護学会論文集 小児看護  | 3年以上の病院勤務の看護職者を対象にした質問紙調査によって、患者家族に対するレジリエンスを引き出す支援、およびその影響する背景要因を分析した。<br>共著者名：新田紀枝、河上智香、高城智圭、高城美圭、北尾美香、常松恵子、上田恵子、石井京子、藤原千恵子   |
|  |         |           |                     | 小児看護実習を終了した学生10名と未終了の学生10名を対象に、啼泣乳児モデルの世話を実施した前後に脈拍や唾液を使用し生理的指標と心理学指標を用いて、乳児の啼泣から受けるストレスの程度を比較分析し、小児看護学実習の受講の有無による影響を分析した。<br>共著者名：河上智香、北尾美香、石井京子、藤原千恵子                                   |
| <b>その他</b>                               |         |           |                     |   |
| <b>1. 学会ゲストスピーカー</b>                     |         |           |                     |   |
|  |         |           |                     |   |
| <b>2. 学会発表</b>                           |         |           |                     |   |
| 1. 熱性けいれんの子をもつ母親のけいれん時の心理的状況             | 共       | 2011年8月   | 第21回日本外来小児科学年次集会    | 地域の小児科クリニックにおいて、わが子の熱性けいれんを体験した母親を対象にした質問紙調査によって、熱性けいれん時の心理状態の特徴を分析した。<br>共著者名：北尾美香、藤原千恵子   |
| 2. 熱性けいれんの子をもつ母親のけいれん時の対処行動              | 共       | 2011年8月   | 第21回日本外来小児科学年次集会    | 地域の小児科クリニックにおいて、わが子の熱性けいれんを体験した母親を対象にした質問紙調査によって、熱性けいれん時の対処行動の特徴を分析した。<br>共著者名：北尾美香、藤原千恵子   |
| 3. 看護職者のキャリア発達による患者及び患者家族レジリエンス支援の必要性の認知 | 共       | 2010年7月   | 第41回日本看護学会一看護総合、山口市 | 3年以上の経験を持つ看護師を対象とした質問紙調査によって、看護師のキャリア発達によって患者や家族に対するレジリエンス支援の必要性に違いがあるかを分析した。<br>共著者名：北尾美香、常松恵子、高城智圭、高城美圭、河上智香、新田紀枝、上田恵子、石井京子、藤原千恵子   |
| 4. 小児看護学実習が育児体験ストレスに与える影響の主観的・客観的判定      | 共       | 2007年9月   | 第38回日本看護学会一 小児看護    | 小児看護実習を終了した学生と未終了の学生を対象に、啼泣乳児モデルから受けるストレスの程度を生理学指標を用いて比較し、実習の影響を分析した。<br>共著者名：北尾美香、河上智香、石井京子、藤原千恵子  |
| <b>3. 総説</b>                             |         |           |                     |   |
|  |         |           |                     |   |
| <b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>          |         |           |                     |   |
|  |         |           |                     |   |
| <b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>          |         |           |                     |   |
|  |         |           |                     |   |
| <b>6. 研究費の取得状況</b>                       |         |           |                     |   |
|  |         |           |                     |   |
| <b>学会及び社会における活動等</b>                     |         |           |                     |   |
| 年月日                                      |         |           |                     | 事項  |
|  |         |           |                     |   |